

住宅改修が必要な理由書 (P1)

-良い記載例-

<基本情報>

利用者	被保険者番号	00000XXXXXX	年齢	80 歳	生年月日	1942 年 2 月 20 日	性別	女
	被保険者氏名	矢川 国子	要介護認定(該当に○)	要支援	要介護			
				1・2	①・2・3・4・5			
住所	国立市富士見台2-47-1							

作成者	現地確認日	令和4年4月1日	作成日	令和4年4月1日
	所属事業所	リフォーム〇〇		
	氏名	谷保 泉	連絡先	042-***-****
	資格等	介護支援専門員 地域包括支援センター職員 作業療法士 福祉住環境コーディネーター検定試験2級以上 その他()		

※ 作成者が担当のケアマネジャー(地域包括支援センター職員含む)以外の場合は、下記に担当ケアマネジャーから署名をいただいでください。

よるもの(公費に)	改修箇所	改修内容
	R3年 浴室	手すり取り付け(3本)

ケアマネジャー	所属事業所	△△ケアプランセンター		
	氏名	富士見 さくら	連絡先	042-〇〇〇-〇〇〇〇

<総合的状況>

利用者の身体状況	心不全、糖尿病、R3年脳梗塞による筋力低下、体力低下、時々ふらつきもみられる。左不全マヒあるが屋内はゆっくり歩い歩きできている。脳梗塞での入退院後に浴室の住宅改修(手すり取り付け)工事実施済み。認知症状があり生活習慣の変更が難しく、やむなく2階を寝室としている。階段に手すりがなく壁に手をつけているが滑ったり転倒しそうになることがある。足の上りも大変になってきた。トイレでは便座からの立上りや衣服の着脱にふらつくことがあり、ペーパーホルダーに手をついたり壁に寄り掛かるなどしている。屋外の歩行は見守り付き添いをして、転倒を防止している。	福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定		
		貸与・購入品目	改修前	改修後
介護状況	夫と二人暮らし。長女が近隣に居住しているが就労あり週末や緊急時しか介護に協力できない状況。排泄は上記の状況ながら自力で行っている。入浴は夫が浴室近くで異常がないか見守っている。介護サービスは運動機会を維持する目的で週2回のデイサービスを利用しているが、不調で休むこともある。夫も介助する際、徐々に身体的負担を感じるようになってきた。	●車いす(付属品含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●特殊寝台(付属品含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	今のところ見守りや支え介助レベルで生活できており、認知症状を考慮してなるべく環境を変えない形で不安なく暮らしたいと考えている。介護サービスも活用し、現在自立している動作はできるだけ維持して慣れた暮らしを続けたい。 ①階段に手すりが設置されれば昇降動作が安定し転倒防止となり、介護する夫の負担も軽減される。 ②トイレでは夫も介助しずらく、動作が安定すれば自立支援となり本人の自尊心も守ることができる。	●床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●手すり	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		●スロープ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●歩行器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●歩行補助つえ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●認知症老人徘徊感知機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●移動用リフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●入浴補助用具	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
●簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
●その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

【住宅改修が必要な理由書の作成について】
 ・住宅改修が必要な理由書(P2)の改修箇所が複数ある場合には通し番号を振り(例:①②~)、理由書・見積書・各図面・写真等と揃えてください。
 ・改修箇所の名称も同様に理由書・見積書・各図面・写真等と揃えてください。
 ・記入要領を参考に、ご本人の身体的機能、住宅や生活の状況、日常生活動線の確認等を踏まえ、なぜ工事が必要となるかという点について記載してください。(「手すりがない」という単なる状況ではなく、なぜという必要性について明記してください)
 ・既存の手すりがある場合は、判る限りそれも図面に書き込んでください。

住宅改修が必要な理由書(P2)

-良い記載例-

<P1の「総合的状况」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善をしようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況(・・なので・・で困っている)を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(・・することで・・が改善できる)を記入してください	④ 改修項目(改修箇所)	
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 便器からの立ち座り(移乗を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他()	② ・便座から立上りにくくペーパーホルダーに手をついてしまう、衣服の着脱にふらつく時は周囲の壁に寄り掛かっている。 ・介助のために夫がトイレに入るのはできるだけ避けたいと思っている。 ・夫としては安全に動作できているか不安で物音など気を付けている。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	② ・トイレでの一連の動作が安定することにより転倒や排泄の失敗が減り、本人の自立支援につながる。 ・夫も安心して見守れるようになり、負担軽減になる。	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取付け (①階段:壁に横型手すり) (②トイレ:便座横にL字型手すり) () () () ()
入浴	<input type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 浴室内での移動(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) <input type="checkbox"/> 浴槽の出入(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 段差の解消 () () ()	
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え () () <input type="checkbox"/> 便器の取替え () ()	
その他の活動	調理 掃除 <input checked="" type="checkbox"/> 階段昇降 寝室への移動 洗濯物干しの際の移動	① ・2階に寝室があるため毎日階段昇降するが手すりがなく、ふらつく時に壁に手をついても滑ったり転倒しそうになる。 ・洗濯物干しをするときは夫も付き添い声掛けや見守りをしている。 ・昇降時のふらつきは日によって違い、本人は不安を感じている。最近夫も負担を感じている。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	① ・手すりにつかまることで動作が安定し不安が解消できる。 ・不安なく動作できるようになれば階段昇降への負担感が軽減され、ひいては筋力低下が防げる。 ・階段昇降に付き添う家族の心理的負担が減り、とっさに手すりを使って本人を支えることもできる。	<input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () () <input type="checkbox"/> その他 () ()